末田まさひこ 市政ニュース

庶民大増税に反対し、憲法を守りぬきます。

No.4　2006. 7.
発行：日本共産党
倉敷市議会議員団
倉敷市西中新田 640
TEL086-426-3767

日本共産党倉敷市議会議員　末田 正彦　sueda@mx7.kct.ne.jp　TEL086-470-0662　FAX086-470-0668

6月定例市議会を振り返って

みなさんの運動と結んで！

－市民が大切にされる市政めざして－

今議会は、市民のみなさんと日本共産党の共同の力が市政を動かして、国・県の悪政から市民を守る独自制度を実現させることができた議会でした。

「障害者自立支援法」の施行により、利用料の１割負担が導入され、また、県の医療費公費負担制度の改悪で、重度障害者の医療費も 10 月から原則１割の自己負担が強いられることになりました。

これに対して倉敷市では、自立支援サービス費の自己負担の 3 分の 1 を、医療費の自己負担についても 3 分の 1 を補助するという、独自の障害者支援策が実現することになりました。いずれも県内では初めての軽減措置です。

６月定例会本会議で質問する末田正彦市議

また、チボリ問題は9月議会が正念場となります。「チボリに新たな税金を投入させない」ためにも全力をあげて頑張ります。

倉敷市議会議員　**末 田　正 彦**

フォト日誌

４月 23 日 県政・市政報告会（児島田の口）

４月 30 日 児島学区子ども会球技大会審判員講習会

無料生活相談：毎月第１，第３水曜日(公務等で日程変更の場合あり)　9:30～12:00　日本共産党児島後援会事務所にて
お気軽にご連絡ください。TEL086-470-0662

6月定例会本会議質問の概要をお知らせします。

2006年6月13日質問
質問内容の一部を抜き出して、編集してあります。

1．古市市長の政治姿勢について

①チボリ事業について

【質問】 県が示した倉敷チボリ公園の再建策は、運営の基本的方向を県営とし、指定管理者制度を導入して県民･市民公園化するというものです。現在かかえている諸課題についての検討を先送りにし、ただ単に破綻したチボリ･ジャパン社を延命させるだけの方策にすぎず、看板を代えるだけで中身はかわらない。県民に負担を続けさせるだけのものとなっています。はっきりしているのは、県が運営費と地代で年間6億7000万円という莫大な支援を続けるということだけです。しかも、それでも足りないということで、県は倉敷市に対して財政支援を要求しているわけです。県自らの責任を棚上げにして、その尻ぬぐいを倉敷市に求めるというのはとうてい許される話ではありません。古市市長はこれまでも度々、「これ以上税金を投入しない」と言明されてきましたが、今も「これ以上税金を投入しない」というスタンスにかわりはありませんか。お答え下さい。

【答弁】 （古市健三市長）公園の存続にむけて協力は惜しまないが、新たな税金の投入はしないというスタンスにかわりはありません。

②少子化問題について

【質問】 「出生率1.25最低を更新」、6月2日付朝刊で一斉に報道されました。厚生労働省の2005年の人口動態統計で、合計特殊出生率が過去最低を5年連続して更新したことが明らかになりました。少子化傾向に歯止めがかかりません。政府の「少子化社会白書」では、その原因として、若者の不安定雇用と低賃金、子育て世代の長時間労働、経済的負担の増大をあげています。これは、それを進めてきた大企業中心主義の政治がつくり出した社会のゆがみにあり、子育てへの障害をつくり出す政治のあり方が問われているのです。市長はこの少子化問題の原因、背景についてどうお考えなのか。また、少子化を克服していくためには、倉敷市としてどういった取り組みをしていく考えなのか、お聞かせ願いたい。

【答弁】 （古市健三市長）これは私たちの地域社会に大きな影響をもたらすというふうに認識をしておりまして、経済面でもそうでありますし、社会保障面あるいは年金なども含めた、そういう制度上の問題もそうであります。そうしたことを十分配慮しながら、今後、子育て、少子化社会については対策を講じていきたい。

5月11日 共産党市議団で倉敷消防局視察

6月22日 平和の鐘（水島空襲の日）

③公立保育所民間委託問題について

【質問】 5月22日横浜地方裁判所の判決から、倉敷市の保育所民間委託問題を検証してみたいと思います。

判決理由の説明の中で、「市立の保育所のままでも、制度的には、本件民営化が目的と掲げているような多様な保育ニーズにこたえることは不可能ではないと思われる」「多様な保育ニーズにこたえると言っても、それほど臨機の措置が求められているわけでもないから、民営化の計画と同様に、毎年計画的に多様なサービスを行う市立の保育園をふやしていくといった対応がとれない理由としては、必ずしも釈然としない」

これはどこの自治体でも、保育園民営化、あるいは民間委託の理由としてあげられている多様なニーズと柔軟な対応の問題ですが、それは理由になりませんよ、とくぎを刺されたことです。このことに対して、古市市長はどうお考えですか。

【答弁】 （中田友楠助役）柔軟かつ早急に対応できる民間保育所にゆだねることがより効果的であると考えております。

２．市民の命と健康を守るために

①介護保険問題について

【質問】 食費、居住費の自己負担導入による影響についてお聞きします。通所系のサービスを受けている方も、食費が自己負担になりデイサービスの回数を減らしたということも聞こえてきます。低所得者対策のない通所系サービスの食費への独自の負担軽減策を求めたいと思います。

【答弁】 （岡田光彦保健福祉局参与）現段階におきましては、通所系サービスの利用者負担に係る減免というのは、今のところは考えていないところでございます。

②障害者自立支援法について

【質問】 さき（共産党国会議員団による）の調査によると、負担増のために施設利用を断念した障害者の方が65人、中止を検討中の方が111人に上っています。また、施設で働いている障害者の方は、利用料が無料から１万円～３万円になり、施設利用料の負担が工賃を上回る実態も明らかになっています。そこで、市として独自の利用者負担軽減策を実施していただきたい。

【答弁】 （岡田光彦保健福祉局参与）利用者負担につきましては、５月17日開催の保健福祉委員会において、市としての対応を示すよう求められており、今議会中の同委員会において案を示すべく、現在鋭意検討中であります。

③単県医療費公費負担制度について

【質問】 県市長会として、引き続き県に対して見直しを要望することはもちろんのこ

6月27日 市議会総務委員会行政視察（ラグーナ蒲郡）

7月1日 第１８回ｸﾚｼﾞｯﾄ・ｻﾗ金被害者西日本交流集会

みなさんのご意見・ご感想をお寄せください。 sueda@mx7.kct.ne.jp TEL086-470-0662 FAX086-470-0668

と、住民福祉の後退がおきないように独自の必要な措置をとる考えはないのでしょうか。特に大変な事態に追い込まれている障害者の皆さんの心身障害者医療については、ぜひ支援策をつくっていただきたいと思います。

【答弁】　（小池信之保健福祉局長）１０月からの制度改正が近づく中で、５月 17 日開催の保健福祉委員会におきましても、市としてどのように対応するのか示すよう求められており、今議会中の同委員会において案を示すべく、現在鋭意検討中であります。

３．防災問題について

【質問】　水防計画の中で、ため池危険箇所と明示されているところは、すみやかな改修が必要と考えますが、市の改修計画はどのように進められているのでしょうか。また、地元から改修要望のあるところについてはどう対応していくのですか。

【答弁】　（三木富雄経済局参与）ため池の安全対策については、ため池決壊防止のため、順次調査、計画策定及び事業を行っています。

地元要望については、現地調査を行うとともに、危険度あるいは緊急度等を精査し、応急措置等必要な場合は、それも含めて適切な対応をしてまいりたい。

お知らせ

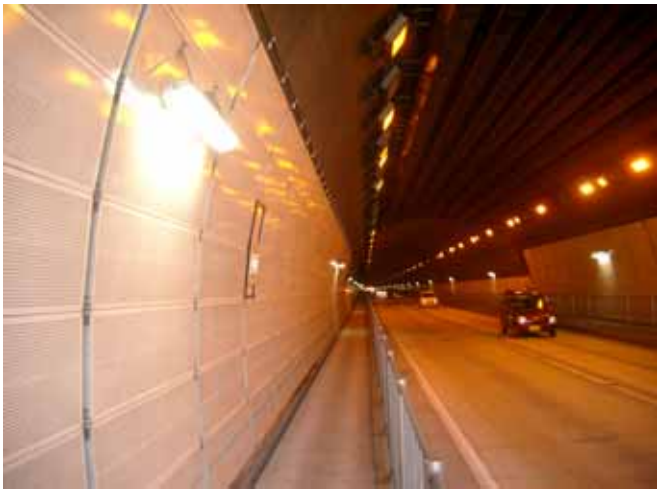
知人が、囲碁・将棋クラブをはじめました。平和と憲法９条を守るクラブ、その名も　ＰＥＡＣＥ（平和）です。
囲碁・将棋好きの方、お立ち寄りください。
また、日本共産党生活相談の連絡所として、私の相談活動のお手伝いをしてくださっています。

場所：児島小川５丁目
（サンレモンさんと
児島税務署との間）
営業：12:30～22:00
席料：大人１日 500 円
子供１日 200 円
（飲み物付き）
店主：細谷　知以
連絡先：086-485-3510

要望が、実りました！

みぞ蓋が新しくなりました。
ー児島小川７丁目ー

側溝の鉄板蓋が、新しいグレーチング蓋に取り替えられました。以前の鉄板蓋は古くなって、ところどころ反り返り、危ない状態でした。

歩道に照明がつきました。
ー小町トンネルー

「暗くて怖い、何とかしてもらえないか。」歩行者、自転車利用の方から要望が出されていました。地域の共産党支部とも一緒に取り組み歩道部分に照明がつきました。明るくなり喜ばれています。